

都市再生整備計画 事後評価シート
白峰地区(第二期)

令和3年4月

石川県 白山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	白山市		地区名	白峰地区(第二期)			面積	21.7 ha			
交付期間	平成27年度～平成31年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	321.1百万円	国費率	40%					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】ポケットパーク整備①(山岸家前)、ポケットパーク整備②(地区入口)、まちなか案内看板設置、案内標識等改修、【高質空間形成施設】白峰中央通線無電柱化、石積水路(ミンジャ)整備、憩いの施設整備、トイレ整備											
		提案事業	【事業活用調査】事業実施効果調査、【まちづくり活動推進事業】山岸家おもてなしガイドの育成、山岸家パンフレットの作成、白峰まち歩きマップの作成、白峰まち歩き案内人・歓迎案内人の育成・支援											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】まちなか案内看板設置				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	【まちづくり活動推進事業】山岸家パンフレットの作成、白峰まち歩きマップの作成、白峰まち歩き案内人・歓迎案内人の育成・支援				目標をよりよく達成するため、看板設置計画の見直しにより、本計画区域外において市単独事業により看板設置を行うこととなり事業を削除			影響はない				
	新たに追加した事業	基幹事業	—				—			—				
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—								
	変更	変更なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	休日のまちなか歩行者数	人/8h	136	H26	145	H31	モニタリング	評価値	151	○	あり	無電柱化による安全・快適で魅力的な道路空間の創出や、案内標識等の改修、トイレ整備等により、地区周辺の回遊性が高まり、まちなかを散策する歩行者の増加につながった。	—
	指標2	白峰地区観光施設入込客数	人/年	117,868	H25	124,000	H31			111,393	△	あり	●	数値目標の達成には至らなかったが、地区の伝統的水路施設であるミンジャの整備による白峰地区の魅力向上や、駐車場を付随させたポケットパークや憩いの施設等の受け入れ環境が整ったことにより、白峰地区の主要な観光施設の入込客数は回復傾向となった。
なし														
指標3	地区祭りの参加者数	人/年	13,600	H25	13,600	H31			15,000	○	あり	なし	地元住民が主体となった取組みや情報発信を行ったことにより、減少傾向にあった白峰地区の主要イベントへの参加者数は増加し、目標であった現状維持を達成することができた。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1													
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					
	住民参加プロセス	・白山市伝統的建造物群保存地区保存審議会との連携。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も、市は審議会等と連携し、白峰地区の良好な歴史的風致の維持及び向上を図る。					
持続的なまちづくり体制の構築	・白峰地区のまちづくり団体(NPO法人白峰まちづくり協議会、白峰観光協会、NPO法人白山高山植物研究会など)が地域や大学と連携し、各種イベントやまちづくり活動を実施。 ・白峰林泊推進協議会による林泊の実現と、魅力的な暮らしのもととなる白峰地域の維持、発展のために多方面のプロジェクトを実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、市は白峰地区まちづくり協議会や白峰林泊推進協議会と連携を図りながらその活動がより活発化するよう後方支援する。						

様式2-2 地区の概要

白峰地区(石川県白山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
【大目標】 白山市白峰地区の活性化を図るため、重要伝統的建造物群保存地区(H24.7選定)を核とした地域資源を活用し、来訪者をまちなかへ誘導するためのまちづくり 目標1:『まちなかの回遊性の向上』…安全・快適・魅力的な道路空間の創出により、まちなかの回遊性の向上を図る。 目標2:『交流人口の増加』…白峰地区の地域資源を活かして魅力を高めるとともに、アクセス性を向上させることにより、交流人口の増加を図る。 目標3:『まちづくり活動の活性化』…地区住民が主体となった取組みや情報発信を行い、まちづくり活動の活性化を図る。	①休日のまちなか歩行者数	単位:人/8h 136 H26	145 H31	151 H31
	②白峰地区観光施設入込客数	単位:人/年 117,868 H25	124,000 H31	111,393 H31
	③地区祭りの参加者数	単位:人/年 13,600 H25	13,600 H31	15,000 H31



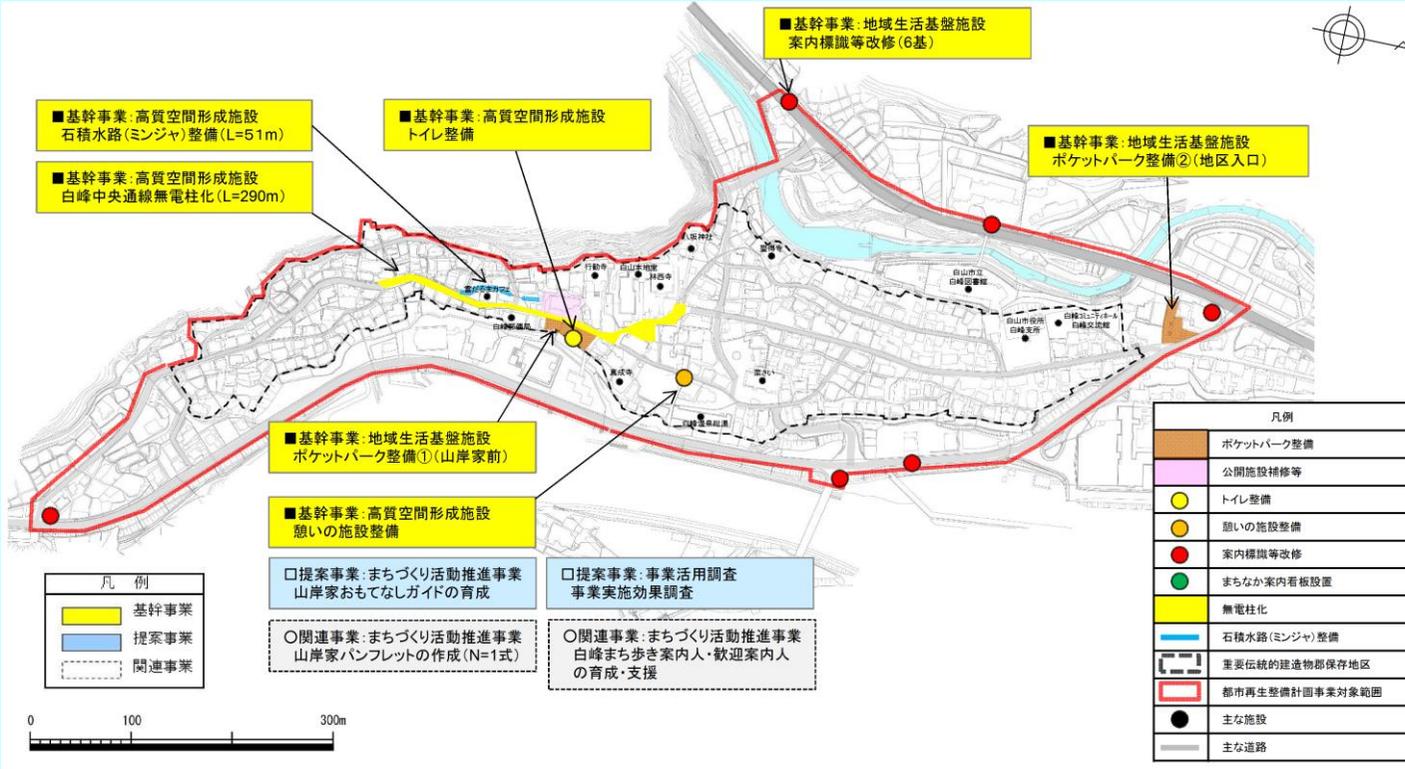
■基幹事業:高質空間形成施設
石積水路(ミンジャ)整備



■基幹事業:高質空間形成施設
白峰中央通線無電柱化



■基幹事業:地域生活基盤施設
ポケットパーク整備①(山岸家前)
■基幹事業:高質空間形成施設
トイレ整備



■基幹事業:地域生活基盤施設
ポケットパーク整備②(地区入口)



■基幹事業:地域生活基盤施設
案内標識等改修(6基)



■基幹事業:高質空間形成施設
憩いの施設整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化の整備やサイン整備、駐車場及びトイレの整備により、来訪者の受け入れ環境の充実を図ることができ、まちなかの回遊性が向上した。 ・地域の特性を活かした石積水路(ミンジャ)やポケットパーク及び憩いの施設(ベンチ等)整備により、住民並びに来訪者の交流が促され、交流人口の増加につながった。 ・地域住民・団体におけるまちづくり活動の支援により活性化が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・山岸家を中心とする伝統的なまちなみ景観の保全・活用の継続(景観整備の事業化検討、まちづくり団体等への活動支援) ・利便性の高い交通体系の確立(地域ニーズ等に応じた交通体系の検討) ・地元住民のおもてなしガイドの維持・確保(おもてなしガイドの育成・支援)